

事業報告書

平成 29 年度

人間を救うのは、人間だ
Our world. Your move.

日本赤十字社京都府支部

も く じ

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

は じ め に

ページ

1. 災 害 救 護 活 動	1
2. 赤 十 字 の 各 種 講 習	7
3. 赤 十 字 奉 仕 団	9
4. 青 少 年 赤 十 字	11
5. 医 療 事 業	14
6. 健康相談など医療社会事業	17
7. 看 護 師 の 養 成	17
8. 血 液 事 業	18
9. 国 際 活 動	19
10. 支援者の増強と活動資金の確保	20
11. 赤十字思想の普及・広報活動	22
(資 料) 平成29年度の主な行事	27
赤十字大会の開催	
評 議 員 会	
業 務 ・ 会 計 監 査	
表 彰	29
役 職 員 名 簿	30
評 議 員 名 簿	31
地 区 ・ 分 区 一 覧	32
施 設 一 覧	33

写真でみる日本赤十字社京都府支部の活動

●災害救護体制の充実強化



第4(近畿)ブロック支部合同災害救護訓練



災害救護ロジスティクス合同研修
(ドラッシュテント設営研修)



JR列車事故総合訓練



救護班要員基礎研修



災害救護ロジスティクス合同研修
(救急車操作研修)

●講習普及事業の強化



防災セミナー 地域の人々で支え合おう
～防災・介護・応急手当を学ぼう～



救急法講習



水上安全法講習



幼児安全法講習



健康生活支援講習

●赤十字奉仕団の活動



HIV/AIDS ピア・リーダー養成研修会
(青年奉仕団 (赤十字京都ユース))



防災セミナーでの炊き出し体験
(城陽市地区奉仕団 (城炊会))

●青少年赤十字 (JRC) の育成



JRC リーダーシップ・トレーニングセンター



近畿(第4)ブロック支部 JRC 国際交流 (受入)

●有功会事業



「NHK 海外たすけあい」
街頭啓発募金キャンペーン



有功会会員から小児病棟入院児童への
クリスマスプレゼント

●赤十字キャンペーンの実施



世界赤十字デーレッドライトアップ2017 (京都府庁旧本館)



ひろげよう赤十字の輪(和) <ポルタキャンペーン>
段ボールベッドの解説



ひろげよう赤十字の輪(和) <ポルタキャンペーン>
「ぼうさいの歌」の披露



ひろげよう赤十字の輪(和) <ポルタキャンペーン>
ハイゼックス炊飯体験



ひろげよう赤十字の輪(和) まいづる田辺城まつり
子ども救護服の着用体験

はじめに

日頃から京都府民の皆様や関係各位の方々には、赤十字事業の推進について格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、大変厳しい社会経済状況の中、赤十字の組織と財政の根幹となる会員の増強と社資の募集について、地区・分区、赤十字奉仕団、有功会会員、協賛委員の皆様をはじめとする多くの皆様に温かいご支援を賜っており、深く感謝申し上げる次第であります。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生してから7年が経過しましたが、今もなお完全復興と言える状況には至っておりません。その後も、平成28年4月の熊本地震をはじめ、毎年のように全国各地で災害が発生しており、昨年は、草津白根山の噴火、九州北部や秋田県における記録的な大雨、北陸地方における豪雪などによる被害、また10月には相次ぐ台風により府内各地でも被害が生じました。日本赤十字社による災害救護や義援金等の活動への期待はますます大きくなっていると考えております。

世界に目を向けても、自然災害をはじめ、民族や宗教等による紛争、テロ等により、人間のいのちや健康、尊厳が脅かされる状況が生じております。

京都府支部におきましては、赤十字精神に基づき、災害救護活動はもとより、通常活動についても、医療事業や血液事業の推進、看護師の養成、救急法等各種講習会の開催のほか、5月の赤十字運動月間におけるキャンペーン、奉仕団の皆様との連携による各地域で開催されるイベントへの参加など、赤十字奉仕団をはじめとする多くのボランティアの皆様のお力添えをいただき、多彩な事業を推進しているところであります。

今後とも、社会情勢の変化に臨機応変に対応するとともに、地域や府民の皆様のニーズに的確に応えるために不断の努力を重ね、また高い確率での発生が予想されている南海トラフ地震等の大規模災害に備えて災害救護体制の更なる充実を図るなど、「人道・博愛」の精神に基づく赤十字活動をより一層推進してまいります。

ここに、平成29年度の事業報告をいたしますとともに、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年6月

日本赤十字社京都府支部

1. 災害救護活動

(1) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期に及ぶ医療救護活動ができるように、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等から成る常備救護班（15班）を編成するとともに、血液センターでは血液供給班を編成しています。

また、災害等緊急派遣に対応する救護班要員を次のとおり任命・登録し、活動に備えています。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	1	11	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	14	26	15	10	65	常備救護班要員
京都第二日赤	6	24	11	7	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃（福知山）	0	0	2	0	2	〃
合計	23	60	48	18	149	

※ 第一日赤・第二日赤の常備救護班要員には、日本DMAT隊員登録者を含んでいます。

※ 看護師（助産師を含む）には、こころのケア要員を含みます。

(2) 防災ボランティア団体等の状況

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して、平成8年1月に発足した「赤十字レスキューチェーン京都」は、有事の際に実働できるメンバーを確保するためにメンバーの増員を図るとともに、ヘリコプター操縦等の特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録し、災害救護奉仕活動の基盤づくりに努めています。

赤十字レスキューチェーン京都（支会別会員数 平成30年3月31日現在）

名称		会員数
舞鶴支会		5
福知山支会		10
亀岡支会		14
京都支会		18
長岡京支会		13
宇治支会		13
個人	一般防災ボランティア登録	75
	救援ヘリコプター登録	2
合計		150

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し、有事に備えています。

平成29年度特殊救護要員登録者数	24
------------------	----

(3) 救護員等の訓練、研修

京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

名 称	実 施 日	会 場	参加者数
第4ブロック合同災害救護訓練	6/17	京丹波町(丹波自然運動公園)	174
亀岡市総合防災訓練	8/26	亀岡市(曾我部町公民館)	4
京都市総合防災訓練	9/2	京都市南区(東寺)	24
京都府総合防災訓練	9/3	八幡市(八幡市民スポーツ公園)	33
福知山市地域防災訓練	9/3	福知山市(由良川河川敷)	15
宇治市総合防災訓練	10/15	宇治市(東宇治中学校)	7
JR列車事故総合訓練	11/8	向日市(吹田総合車両所京都支所)	10
京都府原子力総合防災訓練	11/12	綾部市(綾部市民病院)	7
出水学区防災訓練	12/3	上京区(二条城北小学校)	2
支部管内合同災害救護訓練	2/12	上京区(京都第二赤十字病院 ほか)	86
合 計			362

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

名 称	実 施 日	会 場	参加者数
救護班要員基礎研修	5/20	京都第一赤十字病院	8 3
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	5/27、 6/23～25	京都第二赤十字病院	3 2
災害時のこころのケア研修	6/10	京都第二赤十字病院	2 1
全国赤十字救護班研修 (第1回)	7/1～3	兵庫県支部災害救護支援センター及び兵庫県支部	1
日赤災害医療コーディネーター研修会 (第2回)	10/14～15	本社	2
救護員としての赤十字看護師研修 (こころのケア研修)	10/18	舞鶴赤十字病院	8
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/15～17	舞鶴赤十字病院	8
災害救護ロジスティクス合同研修	11/25	京あんしん館及び梅屋ひろば公園	2 6
こころのケア指導者養成研修 (第1回)	12/11～13	日本赤十字社幹部看護師研修センター	1
全国赤十字救護班研修 (第3回)	1/27～29	本社	7
災害時のこころのケア研修	3/3	京都第一赤十字病院	2 5
合 計			2 1 4

③救護体制の検討等に関する会議

名 称	実 施 日	会 場	参加者数
支部救護員指導者協議会	4/10	京都府支部	2 3
第4ブロック救護員指導者協議会	4/20	京都第一赤十字病院	2 8
支部救護員指導者協議会	9/11	京都府支部	2 3
第4ブロック救護員指導者協議会	10/15	京都第一赤十字病院	2 8
第4ブロック救護員指導者協議会	12/15	大阪府支部	1 1
支部救護員指導者協議会	1/16	京都府支部	1 2
第4ブロック救護員指導者協議会	3/9	大阪府支部	1 4
合 計			1 3 9

(4) 日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

災害に対する認識を新たにさせていただき、非常時における準備や心構えなどを紹介し、赤十字の災害時における活動を知ってもらうために「赤十字地域防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、赤十字の地域啓発の一つとして位置付けており、日赤地区・分区や各社会福祉協議会・各自治会などで積極的に開催していただきました。

内 容	実 施 日	場 所	参加者
災害時高齢者生活支援のために など	10/28	日吉ヶ丘集会所	6 3
	11/30	京都市下京区社会福祉協議会	2 3
	12/2	京都市二条北小学校	3 3 3
	2/10	市民交流プラザふくちやま	2 3
	3/2	文化パーク城陽	8 7
	3/18	宇治市総合福祉会館	1 8
災害エスノグラフィー など	2/5	みやこめっせ	3 2
合 計			5 7 9

(5) 救護、救援活動派遣実績

災害救護、救援活動のため救護班等を派遣しました。また、災害の発生が予想される際の警戒態勢はもちろんのこと、地域のイベントなどでの事故の発生に対応するため、医師、看護師等を派遣しています。

①災害救護、救援活動の派遣実績

内 容	実 施 日	場 所	派遣人員
平成29年台風18号災害救援物資搬送	9/20、26	宮津市	2

②イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内 容	実 施 日	場 所	派遣人員
亀岡平和祭花火大会	8/9	亀岡市（保津川河川敷）	1 2
宇治川マラソン大会	2/25	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	2 8
合 計			4 0

(6) 警戒本部等運用実績

種別	回数（延べ）	従事人数（延べ）
地震に対する警戒本部運用	0	0
風水害に対する警戒本部運用	1	1
合 計	1	1

(7) 救護資機材の整備

災害救護に必要な救護関係資機材については、移動手段として最も重要な車両の整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備 考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	4	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	2	
	その他の救援車両	5	
除染	除染設備（テント）	2	除染設備一式、特殊防護服 4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服（レベルC）	18	
テント	エアー	3	
	パラソル	58	27張は地区・分区に配備
	パイプ2×3間	82	66張は地区・分区に配備
	パイプ3×3間	2	
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器（AED 8台を含む）		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		17	3台はドラッシュテント用
担架（特殊を含む）		28	
衛星通信機器（車載用2台を含む）		9	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に衛星回線（インターネット）を使用した基地局（IPSTAR）を開設
無線機	150MHz	42	
	410MHz	29	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※ この他、除染設備（テント）一式及び特殊防護服（レベルC）4着が京都第一、京都第二赤十字病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(8) 災害救護用備蓄倉庫

地 域	設 置 場 所	形 状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	京都第二赤十字病院所有地内	建物内
	日赤京都救護活動センター内	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター内	コンテナ倉庫
	精華町消防本部敷地内	コンテナ倉庫

(9) 救援物資の備蓄と配分

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の赤十字地区・分区に備蓄しているほか、災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数	緊急セット 配分数	安眠セット 配分数
	世帯数	人 員			
住家全焼	15	34	30	12	1
住家全壊	0	0	0	0	0
住家流出	0	0	0	0	0
住家半焼	6	17	15	8	0
住家半壊	1	1	1	1	0
住家床上浸水	16	40	41	17	0
避難所	16	23	17	6	0
その他	6	16	7	3	0
合 計	60	131	111	47	1

②救援物資の備蓄状況

場 所	毛布 (枚)	緊急セット (個)	安眠セット (個)
支部等の倉庫	5,940	2,676	1,393
地区・分区	1,836	845	486
合 計	7,776	3,521	1,879

(10) 災害死亡見舞金の贈呈

火災などの災害により死亡された11名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(平成30年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

8件 9名 180,000円(1名 20,000円)

(11) 国内災害義援金

(平成30年3月末現在)

区 分	京都府支部		全国(募金総額)
	件数	金額(円)	金額(円)
東日本大震災	39	9,756,143	1,295,095,642
平成28年熊本地震災害	35	13,863,992	907,771,456
平成28年新潟県糸魚川市大規模火災	4	100,657	24,323,403
平成29年7月5日からの大雨災害	30	11,708,196	2,433,342,164
秋田県大雨災害	9	43,736	93,421,091
平成29年台風第18号災害	6	455,099	64,257,433
平成29年台風第21号災害	4	17,174	22,894,461
合 計	127	35,944,997	4,841,105,650

※東日本大震災義援金：平成23年の受付開始からの累計額は、3,402億8,788万6,833円

※平成28年熊本地震災害義援金：平成28年の受付開始からの累計額は、290億78万9,866円

2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導に当たる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資 格 講 習						短期講習		合 計	
	基礎講習		救急員等養成講習		救急員等資格継続研修		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数	回数	人数				
救 急 法	32	1,314	12	306	3	107	53	2,172	100	3,899
水上安全法			4	40	1	8	5	92	10	140
健康生活支援講習			5	48	1	10	36	1,205 (774)	42	1,263
幼児安全法			3	57	1	22	47	781	34	860
合 計	32	1,314	24	451	6	147	141	4,250	186	6,162

※雪上安全法の講習については、京都府支部では実施していません。

※()内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

(1) 救急法等 (救急法・水上安全法)

①指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	5	53	87	145
水上安全法	0	0	20	20

②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
水上安全法指導員研修会	7/6	京都府立青少年海洋センター	9
赤十字救急法講師研究会	11/6~7	本社	20
救急法講師研修会	1/31	本社	1
第4ブロック赤十字講習推進委員会	2/19	滋賀県支部	1

(2) 健康生活支援講習等 (健康生活支援講習・幼児安全法)

①指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
健康生活支援講習	1	21	3	25
幼児安全法	3	21	3	27

②講習指導員関係研修会

名称	実施日	会場	参加者数
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習 (事前説明会)	7/1	京都府支部	5
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習 (本講習)	7/15~17 7/29~30	京都府支部	6
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習 (新任指導員研修)	8/26~27	京都府支部	5
赤十字幼児安全法指導員養成講習 (事前説明会)	9/9	京都府支部	6
赤十字幼児安全法指導員養成講習 (本講習)	10/7~9 10/14~15	京都府支部	6
赤十字幼児安全法指導員養成講習 (新任指導員研修)	11/25~26	京都府支部	5
第4ブロック赤十字健康生活支援講習指導員研修会	12/12	奈良商工会議所	17
赤十字健康生活支援講習指導員研修	2/27	京都府支部	18
赤十字幼児安全法指導員研修	2/27	京都府支部	25
赤十字健康生活支援講習指導員研修 (ボランティア指導員のみ)	3/2	京都府支部	2

3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及、活動資金の募集、献血の推進、災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

(1) 奉仕団登録状況

区 分	団数	分団数	人 数	備 考
地域奉仕団	14	220	2,793	京都市11団、綾部市1団、舞鶴市1団、城陽市1団
青年奉仕団	3	—	267	赤十字京都ユース25名 京一・京二看護学生奉仕団242名
特殊奉仕団	2	—	91	赤十字レスキューチェーン京都（個人登録を除く） 73名、青少年赤十字賛助奉仕団18名

(2) 奉仕団活動状況

①赤十字レスキューチェーン京都

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
赤十字無線救護奉仕団第4ブロック連絡協議会役員会	4/8	大阪赤十字会館	2
赤十字運動月間キャンペーン	5/14	京都市下京区（ポルクプラザ）	2
第4ブロック合同災害救護訓練	6/17	京丹波町（丹波自然運動公園）	18
亀岡平和祭花火大会	8/9	亀岡市保津川河川敷	8
亀岡市総合防災訓練	8/26	亀岡市（曾我部町公民館）	3
京都市総合防災訓練	9/2	京都市南区（東寺）	5
京都府総合防災訓練	9/3	八幡市（八幡市民スポーツ公園）	7
福知山市地域防災訓練	9/3	福知山市（由良川河川敷）	5
支部救護員指導者協議会（第2回）	9/11	京都府支部	1
第4ブロック救護員指導者協議会	10/4	京都第一赤十字病院	2
宇治市総合防災訓練	10/15	宇治市（東宇治中学校）	5
宇治福祉まつり	11/5	宇治市総合福祉会館	7
災害救護ロジスティクス合同研修	11/25	京都市上京区（京あんしん館 他）	3
支部管内合同災害救護訓練	2/12	京都第二赤十字病院 他	3
宇治川マラソン大会	2/25	宇治市（太陽ヶ丘一帯）	17
合 計			110

※この他に、支会ごとに毎月1回例会を開催

②赤十字京都ユース(RCY)

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
青年赤十字奉仕団全国協議会	4/22～23	本社	1
赤十字運動月間キャンペーン	5/14	ポルタプラザ	7
第4ブロック代表者会議・基礎研修会	6/25	日本赤十字社京都府支部	12
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	7/29～30	あうる京北	8
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8/5～7	アクトパル宇治	9
国際交流事業（受入）京都プログラム	9/14～15	京都市内	4
AIDS文化フォーラムin京都	9/30～10/1	同志社大学新町キャンパス	9
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/18～19	あうる京北	2
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	11/19	京都府支部	2
あすのKYOTO・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	5
「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	12/9, 23	京都市内各所	3
子ども体験教室（ふれあいバスケット）	12/10	京都市立音羽小学校	6
平成30年京都市成人の日記念式典	1/9	京都市歓業館「みやこめっせ」	3
赤十字7原則に関するセミナー	3/2～6	本社	1
全国車いす駅伝競走大会	3/11～12	京都市内各所	62
第3回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/25	京都府支部	4
気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 その時どうする？」	3/25	京都府支部	4
合 計			142

※この他、毎月1回例会を開催

③青少年赤十字賛助奉仕団

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	6/20	白沙村荘（京都市左京区）	10
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/5～6	本社	1
第4ブロック支部青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/26～27	大阪赤十字会館、他（大阪市）	4
京都府青少年赤十字賛助奉仕団会議	1/23	京都府支部	7
記念誌作成編集委員会前の事前打ち合わせ	2/15	京都府支部	5
「青少年合宿事業等100回記念誌（仮称）」	2/27	京都府支部	16
合 計			43

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所（活動内容）	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	78	289

4. 青少年赤十字（JRC）

将来を担う青少年の一人ひとりが、世界的視野とたくましい行動力を持って、世界の平和と人類の福祉に貢献できるような人間に育ってほしいということはみんなの願いです。

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を育てるよう学校教育の中で先生が指導者となって進められています。

(1) 加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	合計
加盟校数	16	190	7	(※) 12	225
メンバー数	942	69,782	2,982	101	73,807

※高校のJRCクラブ又はJRC同好会 5校

(2) トレーニング・センター参加状況

対象	実施日	会場	参加校数	参加者数
小学生の部	8/5～7	アクトパル宇治	40	68
中学生の部			13	18
高校生の部			4	24
合計			57	110

※京都府青少年赤十字指導者、RCY、京都府青少年赤十字賛助奉仕団及び赤十字職員（京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都府赤十字血液センター、京都府支部）がスタッフとして52名参加

(3) 国際交流事業の実施

和歌山県支部が事務局となり、第4ブロック（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）支部が合同でマレーシア赤新月社メンバー12名、指導者3名を受入れ

プログラム	期間	参加者	参加人数
京都プログラム	9/14～15	マレーシア赤新月社メンバー（2名）、JRC 高校生メンバー、指導者、RCY 他	41
ブロック版 国際交流集会	9/16～18	JRC 高校生メンバー、指導者、職員	4

京都プログラム：ウェルカムパーティ、JRC 加盟校（幼稚園、高校）・看護学校を訪問及び血液センターの見学

ブロック版国際交流集会：活動紹介、文化交流、フィールドワーク等を実施（国際交流集会参加者61名）。

(4) 青少年赤十字モデル事業

テーマ	会場
「健康・安全」「奉仕」 命の尊さを知り、自主的に健康な生活や安全な生活を実践できる子どもの育成 ～進んで仲間と健康・安全に生きる子～	京都市立音羽小学校
「健康・安全」 自分の生活や健康に興味関心をもち、自ら進んで望ましい生活習慣を形成する子の育成	京都市立市原野小学校

(5) 防災教育プログラム

防災学習の取組（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内容
京都府立嵯峨野高等学校 JRC 部	4月～ 5月	いえまですごろく、避難所運営ゲーム HUG
赤十字運動月間キャンペーン	5/14	災害時シミュレーション
京都市立美豆小学校	7月	いえまですごろく
防災キャンプ 2017 in 京都	7/30	小学5年生以上の京都府民：いえまですごろく
京田辺市立普賢寺小学校	8月	いえまですごろく、避難所運営ゲーム HUG
京都市立近衛中学校	1月	避難訓練に使用
宇治市立南宇治中学校	2/16	1年生対象の防災学習
京都市立音羽小学校	2月	4年生：災害時シミュレーション 6年生：自分だったらどうする
高校生メンバー協議会	3/25	気象庁ワークショップ 「経験したことのない大雨 その時どうする？」

(6) 高校生による献血の街頭啓発

学校名	実施日	会場	参加者数
華頂女子高等学校 JRCメンバー	7/22	献血ルーム四条	9
華頂女子高等学校 JRCメンバー	8/26	献血ルーム四条	7
京都府立北嵯峨高等学校 JRCメンバー	11/19	献血ルーム四条	17

(7) 活動状況

行 事 名	実施日	会 場	参加者数
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/17	京都府支部	12
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/19	京都市総合教育センター	14
第4ブロック支部青少年赤十字指導者協議会	6/1	兵庫県支部	2
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/3	京都府支部	36
第4ブロック支部青少年赤十字指導者研修会	6/24~25	しあわせの村 (兵庫県)	2
全国青少年赤十字指導者協議会総会・研修会	6/29~30	本社	1
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	7/3	京都府支部	19
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	7/23~25	国立オリンピック 記念青少年総合センター (東京都)	1
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター事前研修会	7/27	京都府支部	25
京都府青少年赤十字高校生メンバー対象赤十字救急法講習会	7/31	京都府支部	28
京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会代表者会議	9/10	京都府支部	14
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター反省会	9/28	京都府支部	11
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	11/19	京都府支部	35
青少年赤十字指導者中央講習会	11/25~26	本社	1
「NHK海外たすけあい」街頭啓発募金キャンペーン	12/9 12/23	京都市下京区	56
子ども体験教室 (ふれあいバスケット)	12/10	京都市立音羽小学校	62
京都市立音羽小学校児童会による青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動	1/17~19	京都市立音羽小学校	—
第3回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	3/5	京都府支部	16
青少年赤十字スタディー・センター	3/22~26	東照館 (山梨県)	2
第3回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/25	京都府支部	39
合 計			376

5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

① 京都第一赤十字病院

平成29年度の病院ビジョンは、「地域に信頼され、選ばれる高度急性期病院を目指す」とし、行動目標はバランストスコアカード（BSC）に沿って策定、数値目標化を行いました。

特に、重点的なプロジェクトとして、「上半期閑散期における入院患者増加に係るプロジェクト」、「周術期入退院支援（PFM）に係るプロジェクト」を立ち上げました。



また、院長から職員へのお願いとして、挨拶と会話のある明るい病院、手洗いと身だしなみのある清潔な病院、日々の改善と振り返りのある病院にしよう、という3つのメッセージを発信し、変革に取り組んでいく基本姿勢としました。

職員一丸となって努力した結果、29年度決算は、医業収支4.6億円の黒字、総収支2.3億円の黒字となり、予想以上の業績を残すことができました。また、DPC特定病院（従来のⅡ群で大学病院に準じる機能と実績が条件、全国で155病院、2年ごとの見直し）に4期連続して選ばれました。

平成29年度も大きな医療事故は発生せず、インシデント、アクシデントを減じることができました。入院患者の高齢化がますます進んでおり、転倒転落予防、せん妄対策、治療選択の意思決定支援への対策が今後の課題であり、取組を開始しております。

当院は、臨床・学術・教育、そして、経営の4つのバランスがとれた「地域に信頼され選ばれる病院」になりつつあります。今後は益々厳しくなる医療環境・医療政策のなか、安定的な財政運営を継続し、5年後、10年後も輝き続けられる病院を目指してまいります。

② 京都第二赤十字病院

平成29年度は早期の新病院整備実現に向け、経営の黒字化を目指し、様々な経営改善に取り組んでまいりました。

高度急性期病院として、救急搬送件数及び手術件数の増加への取組はもちろんのこと、年々増

加傾向にあった血液疾患に対応する無菌治療室を4室増床し、がん拠点病院としての機能強化・充実を図りました。また、現在の社会情勢に求められる退院支援、早期機能訓練支援（リハビリ）等も強化し、医療の質の向上にも努めるなど、当院の運営方針である「安全で質の高い医療を継続して提供する」に沿った医療に尽力してきました。

運営方針に沿った目標数値の設定・機能強化に努めた結果、全ての数値において前年度実績を上回り、4年ぶりの黒字化となったことは、職員が一丸となり経営改善に取り組んだ表れだと認識しており、この先も黒字化を継続させ、新病院院整備実現へと繋げていきたいと考えております。

そのためにも、赤十字病院としての使命を果たし、府民に信頼され、多くの患者が集まる病院運営を目指し、更なる飛躍を目指したいと考えております。



③ 舞鶴赤十字病院

平成29年度は、医師が2名減となり、外来診療の縮小を余儀なくされるなど、一段と厳しい年度となりました。

そのような状況下でありましたが、更なる患者様へのサービス向上を図るため、新たに医事サービス課を新設するなど、組織の再編を行いました。その結果、今まで以上にきめ細かなサービスが提供できることとなり、患者様から御好評をいただいております。

また、入院患者様を中心とした療養環境向上のため約1.4億円を投じ、個々の病室ごとに室温調整ができるよう空調整備を行いました。患者様視点に立ち、医療機能の充実を図り、快適な環境作りに努めたところであります。

当院は、急性期100床、地域包括ケア病床50床、回復期リハビリ病床48床を有する計198床の小規模な医療施設であります。今後も、在宅への需要が増大している訪問看護部門を強化しながら、バランスのとれた医療機能の分化と連携を推進し、存在感を高め、地域のニーズにあった医療を提供できるよう努めてまいります。



医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数 (人)				入院患者数 (人)		外来患者数 (人)	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	666	612	総合内科、リウマチ内科、糖尿病・内分泌内科・血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経・脳卒中科、呼吸器内科、腎臓内科・腎不全科、外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科(心療内科)、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、化学療法部、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、病理診断科	242	699	292	1,233	190,929	523	321,662	1,329
京都第二赤十字病院	672	639	総合内科(内科)、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科(神経内科)、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科(精神科)、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	217	668	330	1,215	189,048	518	341,907	1,407
舞鶴赤十字病院	198	198	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	19	138	118	275	56,197	154	89,354	368

注) 病床数・職員数は平成30年3月31日現在、患者数は平成29年度実績

6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区 分	件 数	延日数	延派遣職員			
			医 師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	4	4	3	4	1	8
京都第二赤十字病院	10	12	3	16	1	20
舞鶴赤十字病院	8	8	0	8	0	8
合 計	22	24	6	28	2	36

7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年の歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

(1) 養成施設及び学生数（平成30年3月31日現在）

学 校 名	1 年	2 年	3 年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	41 (2)	43 (3)	45 (2)	129 (7)
京都第二赤十字看護専門学校	42 (4)	43 (3)	28 (3)	113 (10)
合 計	83 (6)	86 (6)	73 (5)	242 (17)

() は男子学生で内数

(2) 進路等の状況（平成29年度）

学 校 名	本 院	進 学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	35	6	4	45
京都第二赤十字看護専門学校	22	0	6	28
合 計	57	6	10	73

8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、平成29年度献血者数は102,939人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご理解を深めていただき継続的なご協力を呼び掛けるために、様々なキャンペーンやイベントを行うとともに、複数回献血協力者の確保や若年層をはじめとする幅広い年齢層への献血の普及啓発を図っています。

(1) 平成29年度 献血状況

献血方法別	京都市		全国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
成分献血	25,477	24.7	1,324,422	28
400mL献血	75,943	73.8	3,261,586	68.9
200mL献血	1,519	1.5	146,132	3.1
合計	102,939	100.0	4,732,140	100.0

(2) 平成29年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都市		全国	
	本数(本)	構成比(%)	本数(本)	構成比(%)
全血	0	0.0	30	0.0
赤血球	146,712	32.4	6,429,293	36.3
血漿	62,642	13.8	2,213,085	12.5
血小板	243,495	53.8	9,061,619	51.2
合計	452,849	100.0	17,704,027	100.0

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものの。

(3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていただく若年層の方々に将来にわたって献血へご協力いただくため、特に青少年(小中高生)を中心に、夏休み期間等を利用し、「青少年献血ふれあい事業」を実施しました。

また、「献血セミナー」も高校・大学で積極的に開催し、将来の献血者確保に努めています。

献血者が減少しがちな冬期においては、安全な血液製剤を安定的に確保するため、1～2月に「はたちの献血キャンペーン」が全国的に展開されました。京都市でも、京都市学生献血推進協議会メンバーが、将来の献血を支える「はたち」の若者を中心に、広く府民の方々に献血への理解と協力を求めました。



9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として世界各国の赤十字社・赤新月社191社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社はお互いに協力し合いながら活動を続けていますが、京都府支部としても救援金の受付や救援事業等を行いました。

(1) 海外救援金

①海外救援金

(平成30年3月末現在)

	京都府支部		全国 (募金総額)
	件数	金額 (円)	金額 (円)
中東人道危機	4	16,000	47,966,720
2017年南アジア水害	2	12,000	11,199,216
バングラデシュ南部避難民	3	14,000	28,796,439
イラン・イラク地震	-	-	11,202,099
合計	9	42,000	99,164,474

※中東人道危機救援金：平成27年の受付開始からの累計額は、1億3,352万3,882円

②「第35回NHK海外たすけあい」寄付金

(期間 平成29年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府 (円)	全国 (円)
支 部	780,557	59,991,702
N H K	580,386	31,657,557
銀 行 等	232,889	21,874,372
本社(郵便局含む)		590,952,623
合 計	1,593,832	704,476,254

③青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当

京都市立音羽小学校児童会 6,557円

(2) 第4ブロック支部国際活動参加事業

ケニア赤十字社が地域保健強化学業として進めている(1)住民の健康促進にかかる行動変容を図る事業、(2)保健医療サービスにかかるシステム強化支援事業、(3)ケニア赤十字社イシオロ県支部の事業実施基盤の整備事業の3項目を重点とした5か年計画を支援するため、第4ブロック支部合同で支援事業を実施(京都府支部支出額100万円)した。

10. 支援者の増強と活動資金の確保

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動をたゆみなく続けていますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年、5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の積極的なご協力をいただいた結果、平成29年度は255,460,384円もの活動資金へのご寄付をいただきました。

なお、口座振替やクレジットカード決済による活動資金募集につきましては、1,476件7,906,940円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。

またダイレクトメールによる活動資金募集においては、961件17,161,193円のご寄付がありました。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

(1) 活動資金収納状況

(各年3月末現在)

区分		平成29年度	平成28年度	対前年度比較(%)
地区 扱	京都市	113,062,538	126,914,364	89%
	府内14市	75,681,388	80,734,957	94%
	府内町村	12,975,986	13,796,922	94%
	小計	201,719,912	221,446,243	91%
支部扱い		53,740,472	103,509,270	52%
合計		255,460,384	324,955,513	79%

(2) 会員数(※)

(平成30年3月末現在)

区分		平成29年度		
		個人	法人	合計
地区 扱	京都市	321	170	491
	府内14市	113	11	124
	府内町村	11	0	11
	小計	445	181	626
支部扱い		1,088	278	1,366
合計		1,533	459	1,992

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

(3) 社資功労表章件数

(平成30年3月末現在)

表章名	件数
日本赤十字社長感謝状	11
金色有功章	10
銀色有功章	7
日本赤十字社京都府支部長感謝状	3
特別社員章	7

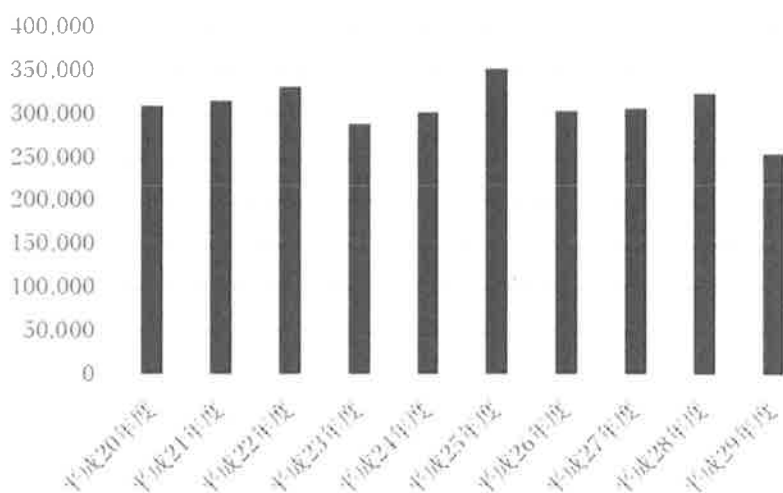
地区別実績額

京都市内 地区	金額
北 区	9,570,700
上京区	8,305,120
左京区	14,103,489
中京区	10,178,751
東山区	5,060,000
山科区	11,224,971
下京区	7,007,240
南 区	7,319,110
右京区	15,841,482
西京区	10,790,610
伏見区	13,661,065
合計①	113,062,538

広域振興局 地区	金額
山城(乙訓)	1,375,740
山城(山城北)	3,360,629
山城(山城南)	3,559,524
南 丹	1,764,236
丹 後	2,915,857
合計③	12,975,986
地区計(①+②+③)	201,719,912
支部扱	53,740,472
合計	255,460,384

京都府内 地区	金額
宇治市	9,268,578
亀岡市	9,358,000
綾部市	3,765,050
福知山市	7,353,110
宮津市	1,695,870
舞鶴市	6,739,288
城陽市	6,182,884
向日市	2,995,940
長岡京市	4,569,151
八幡市	2,658,191
京田辺市	4,508,549
京丹後市	6,494,680
南丹市	4,325,700
木津川市	5,766,397
合計②	75,681,388

活動資金収納額の推移



1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

(1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくため、様々な取組を下表(2)～(4)のとおり実施しました。

(2) 私たちは、忘れない。～未来につなげるプロジェクト～

東日本大震災から5年が経過したことを契機として、平成28年度から継続した復興支援と防災・減災意識の向上を目的に、3月1日から31日までの1か月間、全国的なプロジェクトとして実施してきましたが、平成29年度からは、今まで赤十字にご支援をいただいている企業・団体にプロジェクトへの参加を呼びかけました。

平成29年度については、11の企業、団体に賛同いただき、社員の皆様によるプロジェクトバッジの着用やポスター掲示等の広報活動にご協力をいただきました。ご購入いただいたプロジェクトバッジ代金の一部は災害救護事業に活用させていただきます。

(3) レッドライトアップ

日本赤十字社では、5月8日の世界赤十字デーを中心に、全国各地の歴史的建造物等のライトアップを行っています。当支部では平成29年度から取組を始め、多くの方々に「人道」への理解を深めていただくことを目的として、府内4か所の建物を赤色にライトアップする「赤十字レッドライトアッププロジェクト」を実施しました。

(4) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	期日	場所	啓発物配布
ひろげよう赤十字の輪(和)	5/14	京都駅前地下街ポルタプラザ	1,000
まいづる田辺城まつり	5/28	舞鶴公園	600
北区民ふれあいまつり2017	6/4	京都府立清明高等学校グラウンド	200
左京区民ふれあいまつり2017	7/23	京都市勧業館「みやこめっせ」	100
伏見区民ふれあいプラザ2017	9/3	京都府総合見本市会館「京都パルスプラザ」	100

名称	期日	場所	啓発物配布
右京区民ふれあいフェスティバル2017	10/28	太秦安井公園	500
上京区民ふれあいまつり2017	10/29	京都市立新町小学校	500
中京区民ふれあいまつり2017	10/29	京都市立中京中学校グラウンド	1,000
下京区ふれ愛ひろば	11/12	梅小路公園	1,000
南区民ふれあいまつり	11/12	東寺（教王護国寺）境内	200
ふれあい“やましな”2017区民まつり	11/23	山科中央公園	100
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	200
消防団フェスタ 京都「おやじの会」連絡会ブース	11/26	梅小路公園	500
ガールスカウト京都連盟 「国際ガールズデー 世界と手をつなごう」	11/26	京都市北文化会館	300

※上記以外にも地区独自で地域の各種催し等に啓発ブース等の参画をされています。

(5) 広報活動の展開

内容	期間	場所	備考
赤十字バナー掲揚	4/10～5/21	七条通り	
日赤広報チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民新聞等による広報	4～5月	各地域の啓発（23地域）	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	J R西日本、京都市営地下鉄、京都丹後鉄道、阪急電鉄、近畿日本鉄道、南海電鉄、京阪電鉄	第4ブロック合同広報 （京都市地下鉄、京都丹後鉄道は京都府支部単独事業）
テレビスポットCM （KBS京都）			15秒スポット（通年）
ケーブルテレビCM （京丹波町）			
在阪4テレビ局CM		毎日放送、朝日放送、関西放送、読売放送	第4ブロック合同広報（通年） ※滋賀県支部除く
ラジオCM		KBS京都、エフエム京都、エフエム宇治、FMあやべ、FMまいづる	KBS京都、FMあやべ（通年）
立て看板の設置	5/1～31	支部	
赤十字レッドライトアッププロジェクト2017	5/8、9	京都府庁旧本館、元離宮二条城、園部城、舞鶴赤十字病院	園部城は5/9に実施

内容	期間	場所	備考
パネル展示	4/28～5/19	左京区役所	
	5/1～12	右京区役所	
	5/2～31	集西楽サカタニ	5/21に支部職員が「日本赤十字社の災害救援について」講演
	7/1	西京極スタジアム	上京サンガデー
	7/23	京都第一赤十字病院	病院フェスティバル（キッズセミナー）
	8/5	京都市立鷹峯小学校	鷹峯学区ふれあいまつり
	9/4～7	京都府立嵯峨野高等学校	文化祭
	9/5～8	京都府立鳥羽高等学校	文化祭
	9/11～14	華頂女子高等学校	文化祭
	10/8	京都市立仁和小学校	仁和まつり（赤十字奉仕団ブース）
	11/4	和東町運動公園	平成29年度和東町茶源郷まつり
	11/5	宇治市総合福祉会館	2017宇治福祉まつり R C京都宇治支会によるブース出展
	11/19	けいはんなプラザ	せいか祭り
	11/23	南山城村総合グラウンド	2017むら生き生きまつり
	12/3	わかさぎ温泉笠置いこいの館前広場	第8回ご当地鍋フェスタ鍋-1グランプリ
2/5	みやこメッセ	左京区赤十字奉仕団防災研修	
3/11	与謝野町立加悦中学校	与謝野町防災訓練	

(6) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」着ぐるみ出動状況

名称	期日	場所	備考
新入生歓迎会	4/11	京都府立北嵯峨高等学校	貸出
新入生歓迎会	4/12～13	京都府立鳥羽高等学校	貸出
ひろげよう赤十字の輪（和）	5/14	京都駅前地下街ポルタプラザ	
まいづる田辺城まつり	5/28	舞鶴公園	
病院フェスティバル（キッズセミナー）	7/23	京都第一赤十字病院	
文化祭	9/11～14	華頂女子高等学校	貸出
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	
有功会小児病棟激励	12/22	京都第一赤十字病院	
有功会小児病棟激励	12/25	京都第二赤十字病院	

資 料

平成29年度の主な行事

赤十字大会の開催

項目	期日	場所	参加者数
全国赤十字大会	5/25	東京都・明治神宮会館	35

評議員会

実施日	場所	議案
6月12日(月)	京都府支部	支部・施設の平成28年度決算等
2月9日(金)	京都府支部	支部・施設の平成30年度予算等

業務・会計監査

実施日	施設名
6月5日(月)	京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、京都府赤十字血液センター
6月6日(火)	京都第一赤十字病院、京都府支部

年月日(曜)	行事	開催場所
5月1日(月)～31日(水)	赤十字運動月間	京都府内一円
5月14日(日)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	京都駅前地下街 ポルタプラザ
5月17日(水)	有功会セミナー	大阪府池田市、 吹田市
5月20日(土)	京都府支部救護班要員基礎研修	京都第一赤十字病院
5月28日(日)	有功会チャリティーゴルフコンペ	舞鶴市
5月28日(日)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	舞鶴市 (まいづる田辺城)
6月1日(木)、2日(金)	赤十字奉仕団中央委員会	日本赤十字社本社
6月17日(土)	第4(近畿)ブロック支部合同災害救護訓練	京丹波町 (丹波自然運動公園)
8月5日(土)～7日(月)	京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	宇治市 (アクトパル宇治)
8月26日(土)	亀岡市防災訓練	亀岡市

年 月 日 (曜)	行 事	開 催 場 所
9 月 2 日 (土)	京都市総合防災訓練	京都市南区
9 月 3 日 (日)	京都府総合防災訓練	八幡市
9 月 3 日 (日)	福知山市地域防災訓練	福知山市
9 月 6 日 (水)	赤十字奉仕団京都府支部委員会	京都府支部
1 0 月 1 1 日 (水)	有功会総会	京都市下京区
1 0 月 1 5 日 (日)	宇治市総合防災訓練	宇治市
1 0 月 1 9 日 (木)～2 0 日 (金)	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	香川県高松市
1 1 月 8 日 (水)	J R 列車事故総合訓練	向日市
1 1 月 1 2 日 (日)	京都府原子力総合防災訓練	綾部市
1 1 月 2 5 日 (土)	災害救護ロジスティクス合同研修	京都市上京区 (京あんしん館他)
1 2 月 1 日 (金)～2 5 日 (月)	第 3 5 回「NHK海外たすけあい」運動	京都府一円
1 2 月 3 日 (日)	出水学区防災訓練 (地域防災セミナー)	京都市上京区
1 2 月 9 日 (土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市下京区
1 2 月 2 3 日 (土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市南区
1 月 2 2 日 (月)	赤十字奉仕団京都府支部委員会	京都市中京区
1 月 2 4 日 (水)	日赤地区長会議 (京都市内地区)	京都市役所
2 月 3 日 (土)	東日本大震災復興支援事業「伊勢神宮とおかげ横丁 日帰りツアー」	伊勢神宮等
2 月 1 2 日 (月)	支部管内合同災害救護訓練	京都市上京区 (京都第二赤十字病院他)
2 月 2 2 日 (木)	日赤副地区長・事務担当者会議	京都府支部
3 月 2 日 (金)	地域みんなで支え合おう～防災・介護・応急手当 を学ぼう～	城陽市 (文化パルク城陽)
3 月 3 日 (土)	東日本⇄京都 交流・相談会	聞法会館

表 彰

表章区分		表章基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	2	0	2
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	4	3	7
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	4	7	11
	金 色 有 功 章	50 万円以上	5	5	10
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	2	5	7
	支部長感謝状	10 万円以上	2	1	3
	小計			19	21
役職	金 色 有 功 章	在職年数 6 年以上 他	1	0	1
	銀 色 有 功 章	在職年数 3 年以上 他	4	0	4
	小計			5	0
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数 10 年以上	7	0	7
	金 色 有 功 章	活動年数 20 年以上	10	0	10
	銀 色 有 功 章	活動年数 15 年以上	34	0	34
	支部長感謝状 2	活動年数 10 年以上	47	0	47
	支部長感謝状 1	活動年数 5 年以上	45	0	45
	小計			143	0

役職員名簿

(平成30年6月1日現在)

京 都 府 支 部

支 部 長 山 田 啓 二
副 支 部 長 小 石 原 範 和
" 汐 見 明 男

監 査 委 員 柏 原 康 夫
" 武 田 盛 治
" 渡 邊 隆 夫
顧 問 門 川 大 作

事 務 局 長 山 田 清 司
総 務 課 長 川 淵 正 和
組 織 振 興 課 長 牛 田 順 子
事 業 推 進 課 長 新 井 清 久
参 事 松 本 哲

京 都 第 一 赤 十 字 病 院

院 長 池 田 栄 人
副 院 長 吉 田 憲 正
" 福 田 互
" 塩 飽 保 博
事 務 部 長 田 中 準 一
看 護 部 長 中 島 路 子

京 都 第 一 赤 十 字 看 護 専 門 学 校

学 校 長 (兼) 池 田 栄 人
副 学 校 長 小 林 尚 美
事 務 部 長 (兼) 田 中 準 一

京 都 第 二 赤 十 字 病 院

院 長 小 林 裕
副 院 長 谷 口 弘 毅
" 長 村 敏 生
" 出 島 健 司
事 務 部 長 上 田 敏 勝
看 護 部 長 田 中 千 代 美

京 都 第 二 赤 十 字 看 護 専 門 学 校

学 校 長 (兼) 小 林 裕
副 学 校 長 小 田 初 美
事 務 部 長 (兼) 上 田 敏 勝

舞 鶴 赤 十 字 病 院

院 長 西 田 和 夫
副 院 長 片 山 義 敬
事 務 部 長 上 山 勇 治
看 護 部 長 佐 竹 孝 恵

京 都 府 赤 十 字 血 液 セ ン タ ー

所 長 辻 肇
事 務 部 長 森 原 久 紀

評 議 員 名 簿

(平成30年6月1日現在)

地 区	氏 名	地 区	氏 名
北 区	山 本 勝 保	福 知 山 市	大 橋 一 夫
	石 田 儀 雄		谷 垣 均
上 京 区	木 下 博 視	宮 津 市	井 上 正 嗣
	赤 井 英 俊	舞 鶴 市	多々見 良 三
左 京 区	戸 川 隆 博		倉 橋 貢
	風 間 隨 成	城 陽 市	奥 田 敏 晴
	平 賀 太 郎	向 日 市	安 田 守
中 京 区	山 科 文 子	長 岡 京 市	中小路 健 吾
	河 邑 明 佳	八 幡 市	堀 口 文 昭
東 山 区	名 和 準 三	京 田 辺 市	石 井 明 三
	高 垣 慶 嗣	京 丹 後 市	三 崎 政 直
山 科 区	◇ 澤 田 清 一	南 丹 市	
	中 尾 力	木 津 川 市	河 井 規 子
下 京 区	大 岩 英 雄	山 城	山 本 圭 一
	勝 間 昇		信 貴 康 孝
南 区	石 原 國 男		西 谷 信 夫
			木 村 要
右 京 区	市 田 悦 万	南 丹	太 田 昇
	山 口 正 清	丹 後	山 添 藤 真
	守 屋 忠 敏	支 部 長 選 出	○◇ 武 居 桂
西 京 区	関 谷 一 男		◇ 今 井 民 雄
	田 畑 たつ子		◇ 横 山 義 雄
伏 見 区	田 中 震 治		小 林 佑 年
	林 重 宜		溝 江 幸 太 郎
	森 野 隆 男		阪 口 桂 子
宇 治 市	山 本 正		川 部 松 夫
	俣 政 和		三 好 通 弘
亀 岡 市	桂 川 孝 裕		足 達 靖 彦
綾 部 市	山 崎 善 也		

(順不同・敬称略)

本社役員等 ○理事 ◇代議員

(計56名)

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

平成30年 4月 1日現在

日本赤十字社京都府支部
(支部長 山田啓二)

京都市内	11地区
京都市を除く市	14地区
府振興局	3地区
計	28地区
	11分区
	11分区

京都市地区本部
(本部長 京都市副市長)

北地区	(北地区長)
上京地区	(上京地区長)
左京地区	(左京地区長)
中京地区	(中京地区長)
東山地区	(東山地区長)
山科地区	(山科地区長)
下京地区	(下京地区長)
南区	(南区長)
右京地区	(右京地区長)
西京地区	(西京地区長)
伏見地区	(伏見地区長)
京都市	11地区

宇治市地区	(宇治市長)
亀岡市地区	(亀岡市長)
綾部市地区	(綾部市長)
福知山市地区	(福知山市長)
宮津市地区	(宮津市長)
舞鶴市地区	(舞鶴市長)
城陽市地区	(城陽市長)
向日市地区	(向日市長)
長岡京市地区	(長岡京市長)
八幡市地区	(八幡市長)
京田辺市地区	(京田辺市長)
京丹後市地区	(京丹後市長)
南丹市地区	(南丹市長)
木津川市地区	(木津川市長)
14市	14地区

山城(乙訓)地区	(山城広域振興局長)	大山崎町分区
山城(山城北)地区	(山城広域振興局長)	久御山町分区、井手町分区、宇治田原町分区
山城(山城南)地区	(山城広域振興局長)	笠置町分区、和束町分区、精華町分区、南山城村分区
南丹地区	(南丹広域振興局長)	京丹波町分区
丹後地区	(丹後広域振興局長)	伊根町分区、与謝野町分区
3振興局	3地区(5保健所)	11町村 11分区

施設一覧

- **日本赤十字社京都府支部**
〒605-0941
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075 (541) 9326
ホームページ <http://www.redcross-kyoto.jp>
- **京都第一赤十字病院**
〒605-0981
京都市東山区本町15-749 TEL 075 (561) 1121
ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org>
- **京都第一赤十字看護専門学校**
〒605-0981
京都市東山区本町15-749 TEL 075 (533) 1269
ホームページ http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/
- **京都第二赤十字病院**
〒602-8026
京都市上京区釜座通丸太町上る春帯町355-5 TEL 075 (231) 5171
ホームページ <http://www.kyoto2.jrc.or.jp>
- **京都第二赤十字看護専門学校**
〒602-8015
京都市上京区衣棚通出水下の常泉院町133-3 TEL 075 (441) 2007
ホームページ <http://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>
- **舞鶴赤十字病院**
〒624-0906
舞鶴市倉谷427 TEL 0773 (75) 4175
ホームページ <http://maizuru.jrc.or.jp>
- **京都府赤十字血液センター**
〒605-0941
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075 (531) 0111
ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto>
 - **四条出張所 (献血ルーム四条)**
〒600-8006
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99
四条SETビル5階 TEL 0120 (640) 388
 - **京都駅前出張所 (献血ルーム京都駅前)**
〒600-8216
京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735
京阪京都ビル6階 TEL 0120 (569) 356
 - **伏見大手筋出張所 (献血ルーム伏見大手筋)**
〒612-8053
京都市伏見区東大手町763若由ビル1階 TEL 0120 (731) 350
 - **福知山出張所**
〒620-0853
福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773 (27) 6630

平成29年度事業報告書

発行 平成30年6月15日

発行元 日本赤十字社京都府支部

住所 京都市東山区三十三間堂廻り町644

TEL 075-541-9326 (代表)

FAX 075-541-1361